
テイルズオブエクシリア 絶望と希望の狭間で

我は神ではない

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

テイルズオブエクシリア 絶望と希望の狭間で

【Nコード】

N9401X

【作者名】

我は神ではない

【あらすじ】

極東支部の支部長で行われた『アーク計画』。それは、5人の英雄により阻止された。しかし、また新たな計画が闇に潜む者達によって、企られていく。それを他人事にしていた 新型神機使い 『永来新羅^{えいらいしんら}』は、ある日、リーゼ・マクシアに飛ばされてしまった。なにもわからない使命をという絶望と希望の狭間で彼は、なにを捨てなにを得るのか。そして、永来新羅の使命とは

これは作者が勝手に作った『転生』ものの駄目文です。その上投稿日が遅いです。そこを理解した上でお読み下さい。
あなた方が楽しめれば、作者は幸いです。

prologue (前書き)

始めはprologueです

prologue

何でだろう…どうして、救えなかったんだろう。

結局、この程度だったんだな。

基地が燃えてるのに……

みんな死にそうなのに……もしかしたら、助けられるかも……しれないのに。

足が震えている……動かない……いや、動けない。

怖い…怖い…怖い…怖い

失っていくんだな。

あの時と同じだよ……何も守れない。

やっと……神機使いになれたのに……生きていたって人を傷つけるばかり。

力があってもなくても……同じじゃんか。

…もうダメだ……僕…もう……。

『…主よ。』

ついに…お迎えかよ…

『我が主よ…』

前振りはいいい…顔も見せたくない。俺は地獄行きだろ…さっさと体もつてて、焼くなり煮るなり好きにしろ。

『我が主…永来新羅よ』
えいらいしんら

…誰だ？…なぜ、俺の名前を…

『リーゼ・マクシア、そして主の世界の血をひくものよ』

リーゼ・マクシア？世界？…何だ。冗談はアラガミぐらいに…してくれ。

『主が……リーゼ・マクシアを生きる刻がきた。我が主に…霊力野と、我…リアルオーブを捧げる。霊力野はオラクル細胞を…リアルオーブは新たな力を果たす。後…そのリーゼ・マクシアの言葉を知識に、入れる。』

生きる…神器使いなのに…仲間すら…守れない俺が？

『否。他人に聞くものではない。お主は2つの血をひく人間として…使命を果たすのだ』

使命…ね…わかんねえけど、俺が2つの血を引く人間だと。

『そうだ。それは、運命でもあり使命でもある』

何の使命…だよ…仲間を守れない僕に…使命なんて…

『否。二度言つとおり聞くものではない。しかし一人でその使命を果たす事はできぬ。それが…神であろうとも、魔神であろうとも同様』

それこそ、勝手だね。使命とやらを…なすりつけてるみたいに…

『そこも否。なぜなら、お主こそが…運命であり、使命。避けられぬ宿命』

…今から、行くのか？リゼ・マクシアとやらに。

『…それも、運命』

…勝手にしろ…

『友との別れ』

もうあいつら…殺されてしまったよ。アラガミと…顔も知らない
…人間とやらに。

『では、いくがいい。リゼ・マクシアに……』

prologue (後書き)

今回はオリ主紹介と原作に突入します。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9401x/>

テイルズオブエクシリア 絶望と希望の狭間で

2011年10月26日08時14分発行